

1年 国語 週4時間 担当：茂中 剛（3時間） 木下 樹（1時間）

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化を理解し、親しめるようにする。
- ・筋道を立てて考える力、豊かに感じ想像する力を養い、日常生活の中で伝え合う力を高める。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに言語文化を大切にし、思いや考えを伝え合う態度を養う。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	題材名・単元名	学習内容
1 学期	【漢字】 【書写】 【学びをひらく】 【新しい視点で】 【言葉に立ち止まる】	○漢字（通年） ○校歌（詩・硬筆） ○はじまりの風（物語） ○漢字の組み立てと部首（漢字） ○ダイコンは大きな根？（説明） ○ちょっと立ち止まって（説明） ○指示する語句と接続する語句（言葉） ○空の詩 三編（詩） ○さまざまな表現技法（言葉） ○比喩で広がる言葉の世界（解説）
2 学期	【心の動き】 【筋道を立てて】 【いにしえの心にふれる】 【価値を見いだす】 【書写】	○大人になれなかった弟たちに…（物語） ○星の花が降るころに（小説） ○漢字の音訓（漢字） ○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（記録） ○意見と根拠（思考のレッスン） ○言葉の関係を考えよう（文法） ○大阿蘇（詩） ○いろは歌（古文） ○蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から（古文） ○古典の言葉 ○今に生きる言葉（漢文） ○漢文を読む ○「不便」の価値を見つめ直す（意見） ○原因と結果（思考のレッスン） ○楷書（硬筆・毛筆）
3 学期	【自分を見つめる】	○少年の日の思い出（小説） ○単語の性質を見つけよう（文法） ○二十歳になった日（随筆） ○漢字の成り立ち（漢字） ○ぼくがここに（詩）

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	・言葉の働きを客観的に捉え、理解できる。 ・漢字・語彙・古典・文法・語句・書写についての理解を深め、知識を身に付け、活用できる。	定期考査・漢字テスト・書写作品・暗唱テスト等
思考・判断・表現	・日常生活の中から話題を定め、話すこと・聞くこと・話し合うこと・書くことができる。 ・文章の要旨を把握することができる。 ・場面展開や登場人物の心情の変化を捉えることができる。	定期考査・ワークシート・作成した文章・レポート・発言・スピーチ・聞き取りテスト等
主体的に学習に取り組む態度	・目的意識をもって言語活動に積極的に参加できる。 ・自己の学びを客観的に捉え、更に成長させていこうと工夫し、努めることができる。	授業態度・自己評価・宿題・提出物・ワーク・発言等

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・忘れものをしないようにし、授業前の休み時間に教材準備をする習慣を付けよう。
- ・自分の言葉で考えをまとめ、積極的に表現し、他者へ伝えよう。
- ・友達をはじめ、身の回りの人の言葉や価値観から学び、伝え合う姿勢を大切にしよう。
- ・自分の心情や価値観の変化に気が付き、言語化できるようにしよう。
- ・朝読書に意欲的に取り組もう。
- ・書き言葉と話し言葉をしっかりと区別し、丁寧かつ正確に文字や文章を書くことを心がけよう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・授業で学んだことやポイントを自分の言葉で説明できるようにしよう。
- ・言葉に興味をもち、わからない言葉があったら、辞書を引く習慣を身に付けよう。
- ・わからないことはそのままにせず、遠慮せず先生に質問、相談して解決しよう。
- ・漢字練習を計画的に行い、習慣付けよう。
- ・単元が終了したら、必ずワークで復習しよう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・学習計画をしっかりと立てよう。
- ・2回目以降のテストは、前回までのテスト問題を見直して自分なりに対策を立てよう。
- ・漢字は何回も書いて、正確に覚えよう（漢字ノートを利用する）。
- ・教科書を何度も読もう。
- ・ワークシートやノートを見直し、授業内容を理解しよう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・友達や周りの人の意見や言葉をよく聞き、キーワードはメモをとって調べるなどして、自分の語彙を増やそう。
- ・毎日の時間の使い方、学習計画の立て方、効果的な学習方法を模索し、自分なりのやり方を身につけていこう。友達とも、学習の工夫ややり方について情報交換して参考にとるとよい。
- ・読書に取り組もう。他にも映画やアニメ鑑賞、歌詞のある音楽を聞く、観劇など、多種多様な言葉にたくさん触れ、言語表現を磨いて豊かにしよう。
- ・漢字練習を習慣付けよう（都立高校入試の国語において、漢字は100点中20点と、配点が高い）。